

# がん検診で要精密検査(陽性) と言われたら…

要精密検査（陽性）となった場合には、確定診断のため必ず精密検査を受けてください。

## 胃がん検診の精密検査

### ■必要な検査

胃内視鏡検査などが行われます。



### ■胃がんと診断される確率

精密検査を受けた方の中で、がんと診断される確率は約 0.9~1.8%です。これは一般の方の 10 倍以上の確率でがんが発見されることを意味します。

### ■胃がんについて

全がん死亡数のうち、胃がん死亡数は、肺がん、大腸がんに次いで3番目に多いです。

## 大腸がん検診の精密検査

### ■必要な検査

主に全大腸内視鏡検査が行われます。なお、便潜血検査では確定診断ができず、がんの見落としにつながります。



### ■大腸がんと診断される確率

便潜血陽性の場合、がんがある確率は約 3~4%、ポリープについては約 30~40%です。

### ■大腸がんについて

全がん死亡数のうち、大腸がん死亡数は、肺がんに次いで2番目に多いです。

## 肺がん検診の精密検査

### ■必要な検査

胸部 CT 検査や気管支鏡検査などが行われます。



### ■肺がんと診断される確率

精密検査を受けた方の中で、がんと診断される確率は約 3~5%ですが、肺がん以外にも早めに治療した方が良い病気が見つかる場合もあります。

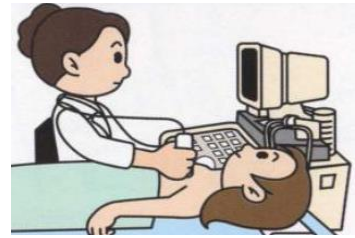
### ■肺がんについて

肺がんは、全がん死亡数のうち、最も死亡数が多いです。

## 乳がん検診の精密検査

### ■必要な検査

マンモグラフィの追加撮影、超音波検査、穿針吸引細胞診、針生検等が行われます。



### ■乳がんと診断される確率

精密検査を受けた方の中で、がんと診断される確率は約2~5%です。

### ■乳がんについて

女性が最もかかりやすいがんは乳がんであり、日本人女性の12人に1人がかかると言われています。また女性の全がん死亡数のうち、乳がん死亡数は5番目に多いです。

## 子宮頸がん検診の精密検査

### ■必要な検査

健診結果に基づいてコルポ診（膣拡大鏡による診察）、HPV（ヒトパピローマウイルス）検査などを組み合わせたものが行われます。



### ■子宮頸がんと診断される確率

精密検査を受けた方の中で、がんと診断される確率は約7~10%、前がん病変である異形成以上の病変が見つかる確率は約40~77%です。

### ■子宮頸がんについて

子宮頸がんに罹患する人は、全てのがん罹患者のうち5番目に多く、近年増加傾向にあります。

※必要な検査内容は一例であり、医療機関により異なります。

精密検査受診時は、医師にその後の治療方針を確認し、医療機関での経過観察が不要であれば、1年に1回（乳がん、子宮頸がんは2年に1回）は検診を継続して受診する事が大切です。



長浜市健康推進課 電話：65-7759